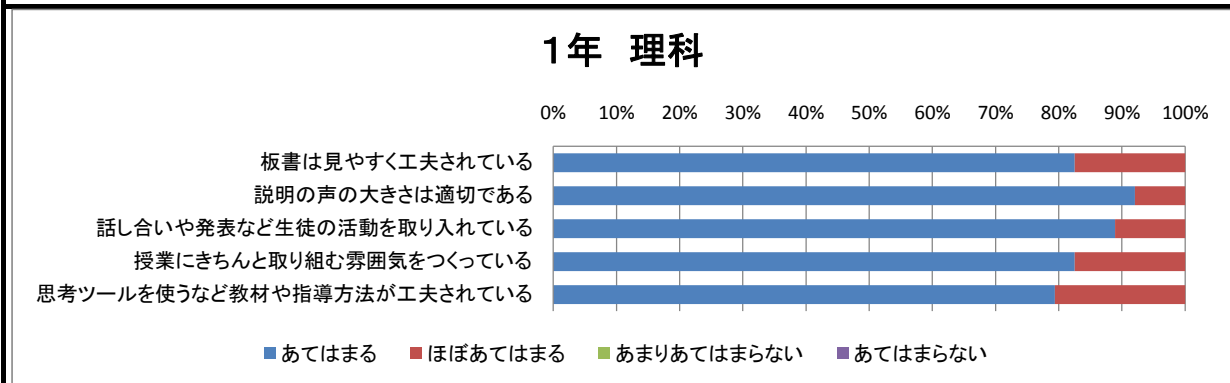


令和元年度 第1学期 生徒授業評価アンケートより

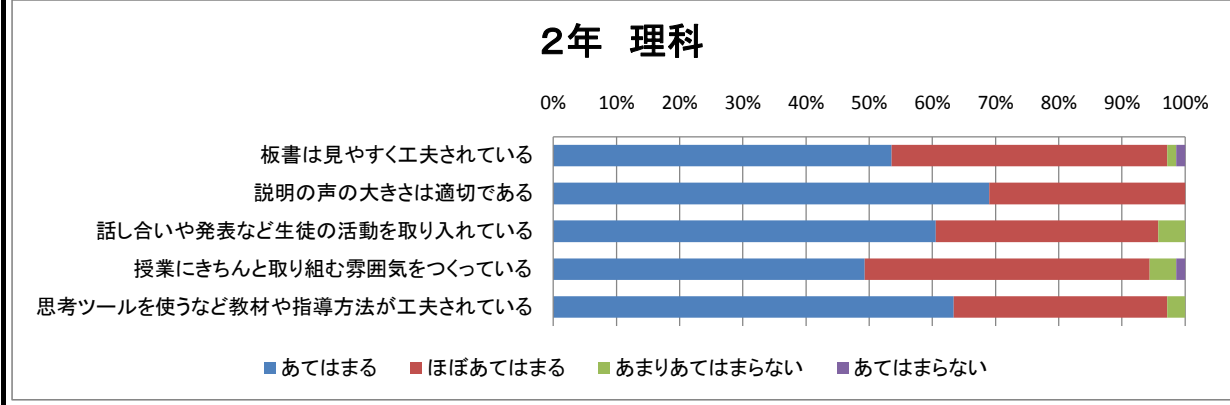
教科	理科	重点目標	・観察や実験を通して、自然の事物や現象についての問題を科学的に理解し、解決するための能力や資質を養う。
----	-----------	------	---

学習指導に関する現状と課題(一学期・生徒による授業評価アンケートより)



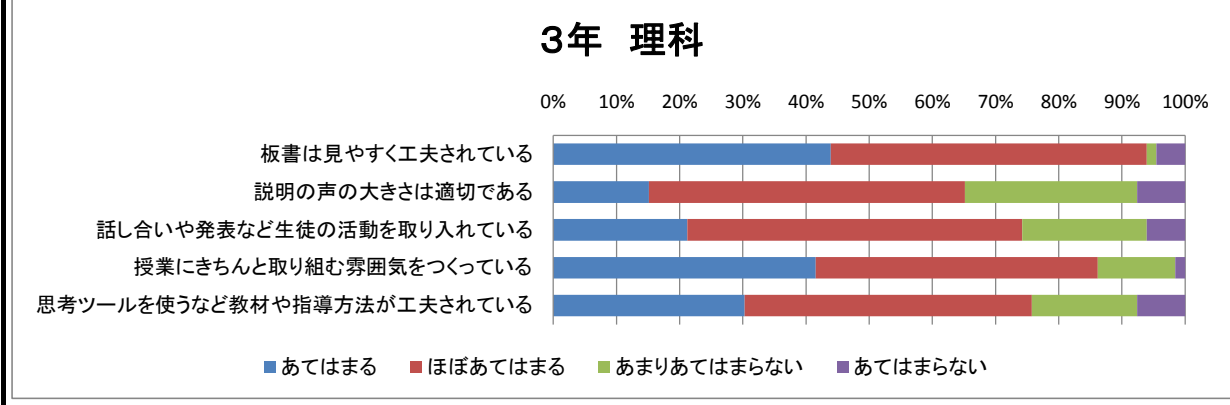
分析

今年度より、板書の代わりにパワーポイントを使い、プロジェクターで黒板に映し出すことにした。小さい字は、拡大でき、板書より見やすい状況が作れた。また、板書の時間を短縮でき、その分、話し合いや発表の時間をとることができるようになり、授業に向く生徒が増えたと考えられる。また、思考ツールやホワイトボードを使い、教材も工夫できた。この評価が1学期で終わることなく、2学期も続けていけるようにしたい。



分析

- ・全ての項目で「あてはまる」、「ほぼあてはまる」が90%を超えており、生徒は授業を満足して受けられていると考える。
- ・話し合いや発表などの活動では「あてはまる」の割合が少なかったため、生徒が話し合ったりアウトプットをする場面を増やしていく。また、思考ツールを継続して取り入れていく。
- ・「授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている」の項目がやや悪かったため、授業規律やメリハリを意識していく。
- ・理科ならではの体験を増やしていけるよう、実験等を多く盛り込んでいく。



分析

- ・「説明」の部分と、「話し合いや発表活動」の部分との兼ね合いがうまくいかなかった。50分の授業でポイントを絞って欲張らずじっくり取り組んでいきたい。
- ・「板書」について、色チョークを使いすぎて見にくくなることもあったと思う。華美になり過ぎないように気をつけていきたい。
- ・「話し合い」については、クラス毎に結論が異なってしまうことがあった。思考過程を誘導することも必要かと思う。生徒の話し合い活動をどこまで取り入れるかの枠を明確にし、生徒の話し合いを優先する場面と、自然事象をしっかりと定義する場面を明確に使い分けたい。